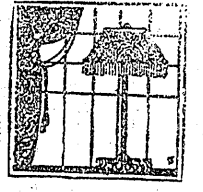


刊夕日二拾月二

常磐毎日新聞

定価 一部全紙 五銭 五分紙 四銭五分
 廣告料 五部十二日 五部 行金五部
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社



と安不の生 興復教宗 みるは丘

×近頃宗教特に佛教の再認識がインテリ階級に叫ばれ出した。遅かりし由良之助」と云ひたい。
 ×宗教は阿片なりと反宗教運動の盛んなりしはつい二三年前の事。世の流轉の迅速驚異の外なし。
 ×負け惜しみの強い左翼の奴等は此の現象を單なる反動と見るかも知れないそれは御勝手だ。或は又非常時意識よりの日本精神の高揚と連關して唯心の東洋的なるもの、追求憧憬となつて顯はれたと云ひ得るか?
 ×そうぢやないんだ! これこそ我々の生の不安の

×「五」だが人口は世界の5%だ、即ち我國の人口密度は世界の平均より約十倍多い。
 解放の鍵としての具現の外ならない。
 ×左翼もつかいぬ右翼も駄目だ。彼らは情熱で生きるだ。が情熱を持たぬ。

×「朝」 味噌汁はうれん草 小付 椎茸のから煮
 ×「書」 煮浸し はぜ 芥子あへ 玉菜
 ×「晩」 湯豆腐 花かつを 昆布しき 八つ頭 ござ味噌

ノート

我國の領土は世界の總面積の○、五%だが人口は世界の5%だ、即ち我國の人口密度は世界の平均より約十倍多い。
 解放の鍵としての具現の外ならない。
 ×左翼もつかいぬ右翼も駄目だ。彼らは情熱で生きるだ。が情熱を持たぬ。

×我々自由主義者はどうすれば良いんだ。籠の鳥の如く馬鹿になつてゐればよいのか?
 ×スピルムウレイドランクの真只中に右に左に吹き流される現代の大衆、まるで玩具だ。幾ら智慧はあらうに物質文明を誇ら

×現代の自稱科學的經驗的實證的智識を誇る大衆には宗教は信じられない死は無である。地獄も極東もあるものか。ありや坊主の金もうけ方便にすぎぬと、御尤もにと、いくらでも聞かして戴かう
 ×又右翼の人は云ふ宗教は阿片あり、人間は須く經濟人たらねるべからずと成程それも一説だ。
 ×だが人間が純然たる經濟人だとする所に根本的な誤謬がありはしないか??

うと我々は古代人の前に赤顔をもつて恥づべしだ
 ×生の指針を失つた大衆、頭腦肥えて心空な青白きインテリのあはれさよ。インテリよ何處へゆく。營々致々として幾世紀漸く今日をなした文明を自らを陥る墓穴であつたとは、淺果なる人智よ。お天道様が笑つてござるぜ
 ×一体生活の指針はどうして得られるんだ。生の不安はどうして解決せられんだ? 科學、文學は古哲學等々に……
 大衆は血み泥だ。薬をもつかみたい溺れる者の最後のものがきに頻してゐる

人間は一片のパンをもつて大事なものがあるんだ
 あたら百萬の富を棄て、も愛する男に純情をさしげる處女もあるではないか。人間は經濟人であると共に宗教人なんだ。
 ×經濟人は SEIZEN の存在であり、宗教人は AULIEN の存在だ。人間世界が AULIEN の存在と化し AULIEN の需要が無くなつたりどうするんだ。その時こそ今よりもっと恐れぜ

×「朝」 味噌汁はうれん草 小付 椎茸のから煮
 ×「書」 煮浸し はぜ 芥子あへ 玉菜
 ×「晩」 湯豆腐 花かつを 昆布しき 八つ頭 ござ味噌

文藝募集

人間は一片のパンをもつて大事なものがあるんだ
 あたら百萬の富を棄て、も愛する男に純情をさしげる處女もあるではないか。人間は經濟人であると共に宗教人なんだ。
 ×經濟人は SEIZEN の存在であり、宗教人は AULIEN の存在だ。人間世界が AULIEN の存在と化し AULIEN の需要が無くなつたりどうするんだ。その時こそ今よりもっと恐れぜ

舊初賣御禮

初賣御禮トシテ
 「マツダ真空管」
 特ニ割引販賣イタシマス
 此際御買ひ求め下さい
 日東商會
 平町二丁目 電話四二八番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
 平町田町 電話五二三番
 内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

木炭代用

月星豆炭 一八キ口壹袋
 金八十錢
 平町前
 阿部石炭商店

花環 蓮花 蓮華
 造花
 平新川町 橋本屋
 電話一六三番

有給外務員數名募集

一、廿五才以上 經驗の有無を不問男女數名
 一、固定給の外旅費支給す
 御希望の方は履歷書持參來談を乞ふ
 (明治十四年創立)
 (保險の開祖)
 明治生命保險株式會社
 所長 平野 康
 事務 小野 勝
 平、仲町

株式賣買債權取立 會社 三共商事

大町 電話三六〇番

花柳病科 專門

木村外科醫院

電話三〇九番
 平町六丁目橋際
 自炊入院の便あり

貸切の御用命は!

電話六四〇番
 尼子タクシールへ
 是非お願いいたします
 遠乗りには特に御相談に應じます

丹野齒科醫院

丹野 淳夫

國威を象徴して

輝く國旗の下に

建國の日本精神を發揚

▽意氣衝天の大行進

建國二千五百九十五年、梅香る佳き日に神武天皇の畝傍山に於ける建國創業の偉勳を仰ぎ奉る平町主催の建國祭は昨日午前十一時より平第一小學校庭に舉行された

市内各小學校尋五以上の生徒、警中警女の兩縣立青年、佐賢、藤田、平陽の各私立校、男女青年團、在郷軍人會員、青訓生、消防組、婦人各種團體、其他有志約五千人所定の場所に整列し先づ篠山第一校長の手に依り掲揚さるゝ大國旗は、翻として輝く國威を象徴し天にもとどけと君ケ代を合唱、大嶺青年團長の式辭、青沼町長の宣言文各朗讀あり宮城を遙拜し町長の發聲に連れて萬歳を三唱、直ちに縣社子鏡倉神社々頭に至り

國家興隆の祈願參拜を済し『天壤無窮』『國威を濟し』『建國精神發揚』等の字句を大書した長旗を先頭に押立て日の丸の小旗を打ち振りつゝ市街を行進し建國日本精神を發揚して役場前に前進解散した、此の日本町は春光麗かに

照り輝き 絶好の建國日和、各戸は國旗を掲揚してたぐひなき佳辰を心より祝福し冲天には炸裂する煙花が喜びの響きを街の隅々までこぼませしめた

春光麗かに

庭に舉行された

市内各小學校尋五以上の生徒、警中警女の兩縣立青年、佐賢、藤田、平陽の各私立校、男女青年團、在郷軍人會員、青訓生、消防組、婦人各種團體、其他有志約五千人所定の場所に整列し先づ篠山第一校長の手に依り掲揚さるゝ大國旗は、

郡下冷害地

更生の座談會

けふ團體事務所にかかる

既報本縣主催郡下冷害地經濟更生座談會は本十二日午前十時より平町團體事務所樓上に開催、縣からは大塚主事、岩崎主事補、清瀧技師、小崎技師等臨席、郡下各町村勸業主任、農業技術員其他八十餘名が参加し

一、司會者挨拶

一、國民精神詔書捧讀

一、國歌合唱

一、凶作克服に關する意見發表

一、來會者の意見發表、質疑應答

の順で座談を進め當日の提出事項左の如くである

一、更生精神の作興の件

一、農山漁村經濟組織改善の件

一、農山漁村經營改善の件

大人も及ばぬ 鮮やかさ!

非常時小國民の 猛烈な試合振り

武徳會平、植田兩分會主催の第一回郡下少年剣道大會は去る十日午前十時から平第三小學校講堂に於て開催参加校は既記の如く尋常科三、高等科八校にて頗る壯烈を極めたが成績並の如く優勝旗は尋常科平第三校、高等科植田校が各獲得した

△團體試合(高等科)1 植田2 平第一3 豊間(尋常科)1 平第三2 同第一3 好間 △高點者試合(高等科)1 植田八代熊雄2 同澤田伊3 豊間四家正夫(尋常科)1 平第三金成桂 2 同大島大三郎3 ナン

小濱の修築は 仲々の難工事

竣工期限が延びる

植田町字小濱漁港の修築工事は本年三月竣工の豫定であつたが同所は常に浪が荒いのと海流の關係から土砂が港内を埋め仲々の難工事であるが最近漸く波浪が鎮り土砂を外洋に押し出したので目下潜水夫十名が港底の砂止作業を開始した、是れが爲め工事は六月頃迄延期されると

警女代表選手が 卓球に三年連勝

卓球に三年連勝

既報平卓球協會主催第四回郡下女子卓球大會は去る十日午前十時から常磐銀行平支店樓上に開催、火花を散らし警女卓球部の渡邊コトさんの三年連勝する所となつた、因に戦績左の如し

△準決勝 (日立) (警女) 根本3 — 2 水竹 (警女)

△決勝 (日立) (警女) 渡邊4 — 1 根本

シネマ週報

△平 館 日活時代劇、大河内傳次郎主演『丹下左膳』大會 猛獸實寫全發聲『死闘百獸狩』

△世界館 松竹サウンド版 岡田良子、川崎弘子主演『また逢ふ日迄』 下加茂

負擔金の 條件が面倒

六十枚橋の改修

既報過般自動車事故を起した六十枚橋の本格的改築は草野、夏井兩村の陳情により縣も是を諒とし工費五萬圓のコンクリート橋に改修する意嚮を示したが地元負擔金の提供一割の五千圓が條件となつて居るので農村不況の折柄兩村共負擔金が思ふ様に纏る見込が立たず目下行惱みの態であると

代劇オールトキー、柳咲子、瀧口新太郎主演『怪談ゆうなき草紙』松竹現代劇全發聲 水谷八重子主演『上陸第一歩』

平町 人事

△月見町三三 野口與平氏 長男英治

△六間門一九 渡邊三郎氏 四女雅子

△立町五二 會川秀義氏五男義雄

美味! 芳醇! 宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

看護婦急派の求めに應じます

平町南町 看護婦會 電話三〇七番

運轉手の卵

生兵法失敗

雑貨店に飛込み 同乗者に大怪俄

湯本町字笠井自動車業鈴木稲實方助手箕輪村字高野生れ高萩義男(一)は昨十一日午後二時頃内郷村大勝自動車部の助手野口利秋(二)が湯本驛前に駐車中の乗合バス一二八六號を見てウロ覚えの腕を試したくなり突然ハンドルを握つて廻し始めたが忽ち運轉を誤り附近の雑貨店川内屋事古川清吉方の店内に車を突ッ込み同店のウエンドを破壊した上前記野口君の前頸部に骨膜に達する傷を負はした由

吉岡氏感激

御内帑金を拜受して既報御内帑金拜受の爲め出福した平自營會常任理事吉岡董太郎氏は昨夜歸郷したのが今十二日御沙汰書を拜讀して左の如く語つた
今後とも益々斯道の爲め各關係機關と提携協力ながら司法保護事業に力を盡くし聖恩に報ひ奉らうと思ひます

盗んだ品の取引最中に

捕へられて泥を吐く

田村郡三春町字北町生れ當時住所不定無職五十嵐顯雄(一)は去る七日川前村字志田大越菊治方に至り白米一斗と布圍一枚を二圓五十錢で賣却して居る處を怪しいと睨まれ平署員に檢舉されたが同人は昨年十一月より双葉郡川内村字上川内和田山製炭所に人夫として日給七十八錢で雇れ中本月六日家人の不在中に主人の外套

海軍志願

豫備講習

平町にては来る十六日第三小學校に於て執行される平町本年度海軍志願兵の試験

に備へる爲め十一月一日午後一時より町會議事堂に志願者十八名を招集して讀書、算術、懸垂、視力、色育判斷等の豫備講習を行ふと

茨城縣人

總會開催 城縣人会は来る十七日午後五時より二丁目谷口樓に總會を開き豫算決算並に役員改選を行ふと

遭難の濱崎氏

けふは元氣回復

梁瀬、石橋兩氏も一安心

十日夜常磐線緩南約二キロの藤棚踏切で貨車に後尾を衝突自動車も顛覆せしめた遭難事件は
運轉手の不注意と判明したが奇禍を招いた磐城炭礦鑛業所副所長濱崎善三郎氏(一)は腦震盪を起した上脊髄と腰を強打重傷を傳へられたが其後の経過頗る良く本日は元氣全く快復し殺到する
見舞客と頻りに談笑

銘仙止りの服装で

平町婦人が新年宴

十四日住吉屋本店に

盛り澤山な餘興

平町婦人會、愛國婦人會、國防婦人會、女子青年團等が聯合して懇親を増す爲めの新年會を十四日午後三時から住吉屋本店に開く、會費は五十錢、長唄、仕舞、琴曲、舞踊、義太夫等樓上の檜舞臺で賑々しく餘興が演ぜられる筈であるから當日の盛況期して待つべきも



明日の天気 今朝も明日も北西の風晴曇半す

今晚の部

省樂部オーケストラ
後八、〇〇 講演 東京、大阪、熊本各一名宛
後九、〇〇 浪花節「浮田秀家八丈ヶ島配所の月」
宮川松安
後九、三〇 時報 ニュー

明日の部

前七、〇一 實用語講座
「文章の變遷」續玉井幸助
前七、三〇 朝の修養「大日本帝國憲法解説」法学博士清水澄
前八、〇〇 婦人講座「圖案の手ほどき」(九)廣川松五郎
後八、〇〇 五ジャズ
後九、〇〇 母の講座「子供の疲勞と恢復」醫學博士村地長孝
後六、〇〇 子供の時間
お話「歴史に現はれた梅」高柳光壽
後六、二五 基礎英語講座
岡倉由三郎
後七、三〇 朝鮮警備隊慰問の夕
後八、三〇 琵琶「川中島」飯牟禮洲長
後九、〇〇 物語(器樂を主とせる物)

濟生會の寄附

夏井村字菅波、農箱崎庄助氏は本日濟生會資金として自發的に百圓の寄附を平署に届けた

土井晚翠氏が

阿彌陀堂視察

教授土井晚翠氏が白水阿彌陀堂視察の爲め昨夜平住吉屋本店に一泊したのを機として本日警中及び警女に於いて講演會を催したが氏は午後白水阿彌陀堂を參拜し歸仙の途に着いた

平第一歡迎會

平第一歡迎會 平第一小學校職員一同は今十二日午後三時より力丸訓導の後任として好間校から着任された大和田豊氏の歡迎會を催した

家出の娘に

郡山市 海岸を警戒 二本町 二四四青木ホノさんの長女トメ(一)は離縁されて實家に戻つて居たが去る廿三日午後九時頃家人の不在中海

陸軍記念日に

警中 及び平商は来る三月十日の陸軍記念日の適當な催しを考慮中
増級寄附募集 石城町村長支會は本月廿一日午

裁判所たより

△既報湯本町大字湯本字三函二一六食肉營業鮫岡正次(一)が昨年八月二十五日頃から十一月半頃前後三回に亘り許可なく自家飼育中の豚三頭を屠殺販賣した事件は今十二日屠場法違反として小林判事より略式罰金六十圓に處された
平職業紹介所報告
回人を求める方
△印刷工見習 十八才 尋卒
△住込月四圓
△カマド製造工 二十前後 五十錢以上
△店員 十九迄 尋卒 月六七圓
△配達 三十五迄 尋卒 月十圓位
回職を求める方
△事務員 三十四才 高卒
△漁夫 廿五才 尋卒
△採炭夫 二十四才 高卒
△鐵工見習 十九才 高卒
いづれも給料面談



明治太平記

(無断断断断)
(上及上演)
(作) 寺島 狂史
(畫) 野口 蓮

第五十回 助太刀商賣 (七)

パークスは、後朝のとき
惚々とおとわの寝亂れ髪を
みやりながらいつた。
『おとわしやん。わたし歸
任のときは、きつときつと
あなたを本國へ連れていき
ますよ。おとわしやん。わ
たしのおとわやん』

その親切はありがたいが
いまのおとわの心情はそれ
に甘へるわけにはいかなか
つた。いやパークスの綿々
たる愛情を、おもひだして
さへぞつと怖毛が立つのだ
つた。

『あゝ、いや、いや。
おとわは、くらい海に向
つていや／＼をした。さめ
／＼と泣いた。涙のあとで
自棄の笑ひを唇にうかべた
——あの生つ白い諸生さ
んにすつかりだまされてし
まつた。』

いまは、人身賣業者の
井手をさへ恨むだ、パーク
スの玩具物になりさへすれ
ば、それでわけなくウエル
ズに近づくにいとつた
あの諸生の一言を信じたの
がそも／＼こちらの輕卒だ
つた。愛すれば愛するほど
パークスがおとわをウエル

ズに近づけぬのは、洋の東
西、眼色毛色は變つても、
人情に變りはないところ：
……それにいまやつと氣の
ついたおとわなのだ。
そんな愚知やら後悔やら
をひとりさんざ洩して寝臺
へかへつたころ、靜かに扉



にび通つてきたのかとおも
うと、もうおとわは生きた
心地はなかつた。
扉は、ふた／＼び靜かに綿
たる愛情をこめてたたくか
れた。
で、おとわは、つらいつ
とめの身の、いまはどうに
も通れる途はなく、寝間着
のまゝ、寝臺をおりて、扉の
そばへ近づいた
『だんなさま？』
鍵穴に、鍵を差し入れな
がらそつとさか／＼か甘やい
た聲でいつた。
が、扉のその人は、聲
を呑んでをる

をた／＼くものがあつた。

『パークスがまた……
おとわは、寝臺のうへに
腹這ひになりながら眉をひ
そめた。』

繪にみる珠々そのまゝいな
巨きな軀を情熱にもやしな
がらいまのさつきのうれし
い首尾を忘れかねて、

に着けてをれ、どこにも新
しい匂ひの微塵もせぬ眉毛
の濃い、苦み走つた因循姑
息な面構へだつた。
『まア、あんたは』
周章して、寝間着の前を
掻き合せながら、おとわ
は険しい眼をした。
『黙つとれ』
『だつて、女ひとりの室へ
見も知らぬ男が入つてくる
なんて……』
『黙つとれ』
『いゝえさア、出ていつて
ください』
『こりや、靜かにしろとい
ふに』
『いゝえ、聲を立てます』
男の手が、おとわの口も
とへのびた。
『靜かにせぬと損だぞ』

市原醫院
平・田町
電話一四番

市原醫院
平・田町
電話一四番

店理代平命生本日大最優最
榮盛賀志
(三一二電)目丁四平

是非!

御融通には御用命下さい
萬事便利な御相談に應じ
ます

三井質店
平四・電六〇六番

磐城セメント會社特約店

久益屋商店

磐城平町五丁目 電話九番九九番

良品廉賣に勝る商略なし
確實敏捷は生命なり

内科 小兒科 花柳病科
藤沼醫院
平町紺屋町 電話五〇七番

米國製劑皮膚病良藥
レメドール
子宮あた／＼めぐすり
宮温湯
丹波博士創製セキドメ
たんばあめ
靈藥ムテキ
平町古銀治町〇一
阿康藥舖
縣社ノ下 電話四四番

ユビハレ、ヤケド、キリ
キズ、淋病、梅毒、乳ハ
レ、すべて化膿したもの
を切らずに癒る

耳鼻咽喉科専門

平田町 (電話六九一番)

病室完備
自炊便有

山内醫院

醫學士 山内亨 吉